



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 6 号

発行日

平成 25 年 2 月 28 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

会長 原 清



諏訪湖の「お神渡り」神事

挿絵：谷澤信熹

平成 25 年度

諏訪ユネスコ協会定時総会通知

日時：平成 25 年 5 月 19 日（日）午後 1 時

場所：諏訪市 ベルファイン

会費：5000円

講演：前長野県教育委員会 委員長 矢崎和広氏

アトラクション：「語りべ」出演：矢野要子、志村吏絵

年度明けのご挨拶

諏訪ユネスコ協会 会長 原 清

会員の皆様には、益々ご健勝のこと心から大慶に存じ上げます。2012 年は分担を受けた業務を良く努力し完遂してくれていること、感謝いたします。寺子屋部会では、全会員活動の「書き損じハガキの回収」に力を入れて戴き、諏訪地区 46 校 17,000 人の生徒、校長、教育委員会の方々がそれぞれ意義をよく理解してご協力を頂きました。遺産部会は自然遺産の現地研修や地域を理解し愛護する基本的な勉強を続けています。地域部会は諏訪湖の清浄化に勤めています。広報部会では年3回の「諏訪ユネスコ通信」の発行に努力しています。

地域の方々の応援を受けながら更に発展した年にいたしましょう。

高島藩と廃仏毀釈(神仏分離)



地域遺産部会では2月19日(火)午後7時より諏訪市公民館に於いて諏訪ユネスコ協会の「地域の歴史文化遺産」の学習活動の一環として講演会を開催した。

講師に、諏訪市文化財専門審議会委員長・松下芳紘先生を招き「高島藩と廃仏毀釈(神仏分離)」と題して江戸時代の高島藩の成立、高島藩の領域と石高、歴代藩主7人の江戸幕府の役職について語り、その仕事内容にも触れた。

藩主が佛法寺に桜花見に来寺された当時のお招きの様子が、佛法寺文書(公用日記)に記されていた。

佛法寺の文書は大変、格の高いものであるとの評価を得ていると話した。

諏訪の廃仏分離(廃仏毀釈)の流れについて語った。

「何故神仏分離がなされなければならなかったのか」は多様の説があり、これからの研究に興味もたれている。

過日の大雪、大寒にも関わらず、諏訪ユネスコ協会の会員と一般視聴者を合わせて30余名の参加があった。

活発な質疑応答も交わされ、大変貴重な講演会となった。



『ユネスコ協会現況緊急アンケート』実施の報告

諏訪ユネスコ協会 原 清

12月18日 ユネスコ協会連盟 内田専務理事の発信文書で緊急アンケートがありました。

内容は「日本ユネスコ国内委員会より、全国各地のユネスコ協会の現状に関する詳細な情報提供の依頼」でした。

質問状は下記のとおりです。

テーマ「2011年度の活動」に関する質問

- A. 世界寺子屋運動について B. 世界遺産活動・未来遺産活動
C. 平和の文化実践活動について D. 学校への働きかけについて
F. その他

1. 日本ユネスコ運動全国大会に参加していますか
2. ブロック・ユネスコ活動研究会へ参加していますか
3. 「東日本大震災子ども支援募金」に協力していますか
4. 会報を発行していますか
5. ホームページやブログを作成していますか
6. 貴ユネスコ協会が活動するにあたって課題はありますか

①組織の形態について（任意団体・NPO法人・公益社団法人・一般社団法人）

②会員の構成について

会員数・年齢層・男女別比率について

※回答内容（諏訪ユネスコ協会）

組織形態・・・任意団体

会員数・・・96人

年齢層・男女別比率について

年齢層（才）	男（人）	女（人）
41～50	3	0
51～60	9	0
61～70	25	21
71～80	23	12
80以上	1	2

男子平均年齢 71.88才

女子平均年齢 69.3才

諏訪ユネスコ協会平均年齢 70.25才

☆諏訪地域の就業定年は65才、定年後地域の各種団体の役員を務める。

70才を超えて、さて何をしようか？で知的なボランティアのユネスコを選択してもらっている。

故に高齢化とは思っていない旨の意見書を添えて提出しました。

東日本大震災子ども支援募金
ユネスコ協会就学支援奨学金

被災した子どもたちへの継続的なご支援をお願いします。

東日本大震災から間もなく2年を迎えようとしています。被災地の復興も少しずつ進んでいますが、災害公営住宅の建設開始にはまだ時間がかかるようです。

津波で家を失った多くの家庭で、今年も、来年も、仮設住宅での避難生活が続きます。被災地の生活は、まだまだ厳しい状況です。

ユネスコ協会就学支援奨学金では、震災で被害の大きかった市町村順に、これまで11の市町で奨学生の募集を行ってきました。多くの方々からの温かいご寄附をもとに、現在1,736人の子どもたちに奨学金を届けることができました。

しかしながら、震災後、経済的な理由で就学が困難になった小・中学生は約3万9,000人といわれている中、奨学金を必要としている子どもたちはまだまだたくさんいます。

日本ユネスコ協会連盟では、2013年度以降も、皆様からの募金が集まり次第、まだ支援できていない地域で奨学生の募集を行い、支援活動を継続していきたいと考えています。

現在、奨学金の原資が不足しています。被災地の子どもたちが、経済的な理由で進学や夢を諦めることなく学業を続けていけるよう、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

<ユネスコ協会就学支援奨学金とは>

- ・対象者：津波による家屋流失、失業、そのほかの理由により、著しく経済状況が悪化した家庭の小学生及び中学生。
(自治体により、対象者の詳細は異なります。)
※震災による遺児・孤児の方は対象外です。遺児・孤児の方を対象にした別の奨学金制度があります。
- ・対象地域：岩手県、宮城県、福島県の3県で被害の大きかった市町村を特定して実施。
- ・給付金額：原則として、一人あたり毎月2万円を3年間給付。

募金の方法について

■ 毎月の継続的な募金をしていただく場合

毎月1,000円から口座振替（自動引き落とし）にて募金ができます。

クレジットカードによるお手続きの場合

日本ユネスコ協会連盟のホームページから募金ができます。

URL: <http://www.unesco.or.jp/support/donate/net/>

クレジットカード以外のお手続きの場合

専用の口座振替申込用紙を郵送させていただきます。

恐れ入りますが、就学支援係までお電話ください。

TEL: 03-5424-1121



■ 1回ごとの募金をしていただく場合

銀行からのお振込み：専用募金口座

三菱東京UFJ銀行 神田支店 (普) 0297275 シャ) ニホンユネスコキョウカイレンメイ

(※三菱東京UFJ銀行以外の銀行からでも、銀行窓口で「手数料免除口座」であることをお伝えいただくと、送金手数料は免除されます。)

クレジットカードによる募金

日本ユネスコ協会連盟のホームページから募金ができます。URL: <http://www.unesco.or.jp/support/donate/net/>

郵便局からのお振込み：専用募金口座

00190-7-611160 口座名：ユネスコ (※手数料をご負担ください。)

「書きそんじハガキの回収」 11,252 枚

寺子屋運動部会は第1回部会を平成24年7月3日に行い今年度活動の取り組みについて協議した。

第2回部会は10月3日に「書きそんじハガキ・キャンペーン2013」について協議し、下記について決定した。

1. 日本ユネスコ協会連盟教育文化事業部の主催するキャンペーンに参加し、地域に根ざした地道な運動を推進する。併せて諏訪地域の全小・中学校に協力をお願いして児童に世界の支援活動に参画する意義を理解してもらう。
2. キャンペーン開始にあたって理事会に承認をお願いする。
3. 無料提供されるキャンペーン資料パックを一式申し込む。
4. 書きそんじハガキの切手交換について
 - ◇ 書きそんじハガキを地区毎の郵便局で切手に交換。
 - ◇ 交換した切手を地域の協力事業所を探し現金化する。
 - ◇ 購入事業所の意向を汲んだ切手に交換する。
 - ◇ 残った切手は、80円切手にする。
5. 世界寺子屋運動チラシを20,000枚印刷する。
6. 書きそんじハガキBOX、A3ポスターを必要とする地区は10月末までに部会長に報告する。

第3回部会は11月27日に6市町村の教育長・学校長への依頼文の配布とチラシの配布を行った。

第4回部会は2月21日に最終集計作業を行った。



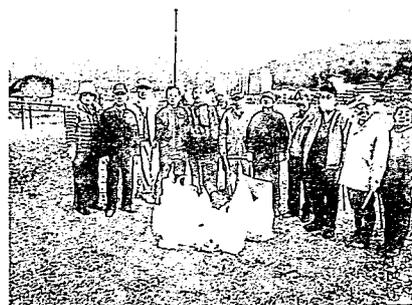
集計結果は以下の通り

市 町 村 名	回収枚数	募 金 額
諏訪市 11校 (4中 7小)	3,625 枚	163,159 円
茅野市 13校 (4中 9小)	1,673 枚	75,048 円
岡谷市 12校 (4中 8小)	2,198 枚	98,725 円
下諏訪町 4校 (2中 2小)	927 枚	41,725 円
富士見町 5校 (1中 3小 1養護)	1,484 枚	65,800 円
原 村 2校 (1中 1小)	767 枚	33,166 円
合 計	10,674 枚	477,623 円
その他の施設 (一般)	578 枚	25,920 円
総 合 計	11,252 枚	503,543 円

＝諏訪湖アダプトプログラム活動報告＝

地域実践部会は今年第3回目を11月24日(土)午前9時より会員14名の参加をえて実施した。

寒さの中、湖畔に打ち寄せられたゴミ、ペットボトル、缶、たばこの吸い殻などを回収した。



事務局だより

第16回 理事会報告 平成24年10月29日(月) 午後7時 事務局

1. 「書きそんじハガキ・キャンペーン2013」参加申込み承認の件
日本ユネスコ協会連盟 教育文化事業部の主催するキャンペーンに参加し、地域に根ざした地道な運動を推進する。併せて諏訪地域の全小中学校に協力をお願いし児童生徒に世界の支援活動に参画する意義の理解を求める。今後の活動日程と諏訪地区小中学校にチラシ20,000枚配布を決めた。
2. 小松道俊親子展延期の件
小松道俊先生が体調不良により作品制作が出来ないため、体調回復まで延期する事とした。
3. 各部会報告
寺子屋運動部会：昨年に引き続き、日本ユネスコ協会連盟 教育文化事業部主催「書きそんじハガキ・キャンペーン2013」に参加する。
地域遺産部会：2月に文化講演会の開催を予定し、講演内容・講師の選定を行っている。
地域実践部会：諏訪湖アダプトプログラム（諏訪湖浄化運動）11月24日午前9時より行う。
広報部会：「諏訪ユネスコ通信」第6号を2月末日に発行予定し編集委員会を行う。

第17回理事会報告 平成25年1月24日(木) 午後6時30分 事務局

1. 地域遺産部会主催「文化講演会」について
演題「高島藩と廃仏毀釈」講師：諏訪市文化財専門審議会委員長 松下芳紘
日時：2月19日(火) 午後7時 場所：諏訪市公民館視聴覚室(1階)
2. ユネスコ協会現状緊急アンケート調査報告について
会長より報告内容について詳細に報告された。
3. ユネスコ協会就学奨学金支援の会員依頼について
依頼文書を「諏訪ユネスコ通信」第6号にて会員に広報する。
4. 第3回定時総会の記念講演講師依頼について
矢崎和広氏(前長野県教育委員会委員長・前茅野市長)に依頼する。
5. 第3回定時総会「アトラクション」依頼について
矢野要子、志村吏絵両会員に「語りべ」を依頼する。
6. 矢崎和広氏を4月より顧問に委嘱する。
7. 部会長より各部会の活動報告が行われた。